

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 平成 29 年 9 月 29 日

設置・運営主体	社会福祉法人 ふじみ野福祉会		
設置主体	社会福祉法人		
経営主体	社会福祉法人		
事業所名 (施設名)	地域密着型特別養護老人ホームむさしの	種別	特別養護老人ホーム
所在地	〒 354-0011 埼玉県富士見市大字水子1882番1		
電話	049-275-6300		
FAX	049-253-0460		
Email	musashino@f-musashino.jp		
URL	www.f-musashino.jp		
施設長氏名	吉江 孝行		
調査対応担当者	細川 信吾 (所属、職名： 地域支援課 地域支援課長)		
利用定員	29 名	開設年	平成 24 年 10 月 1 日
理念・基本方針			
<p>○利用者・家族・職員の3つの笑顔を大切に地域に根ざした施設作り 利用者さんの笑顔は良質なサービスを提供することによって生まれ、家族の笑顔は安心して介護を依頼できることによって生まれ、職員の笑顔はこの福祉というたいへんな仕事を通じて得られる充実感から生まれ、それらの活動を通じて地域福祉を推進していく という意味が込められております。</p> <p>○利用者の尊厳ある生活を守り継続する施設作り「生存」から「生活」へ 利用者の「食べる」「寝る」「排泄」「入浴」といった単なる「生存」のためのサービス提供で終わるのではなく、利用者が「学ぶ」「遊ぶ」「話す」「創造する」「安らぐ」といった生存を超えた「生活」行為を支援するためのサービスを提供することによって、利用者の尊厳ある生活を守り継続していくことができます。介護の視点を「生存」から「生活」へと変えることにより、利用者が地域のなかで尊厳ある生活を維持しながら、生き生きと生活できる施設づくりをしていくという意味が込められています。</p>			
開所時間 (通所施設のみ)			

【利用者の状況に関する事項】

○成人施設の場合（老人福祉サービスを除く）

18歳未満	18～20歳未満	20～25歳未満	25～30歳未満	30～35歳未満	35～40歳未満
名	名	名	名	名	名
40～45歳未満	45～50歳未満	50～55歳未満	55～60歳未満	60～65歳未満	65歳以上
名	名	名	名	名	名
					合 計
					名

○老人福祉サービスの場合

60歳未満	60～65歳未満	65～70歳未満	70～75歳未満	75～80歳未満	80～85歳未満
0 名	0 名	0 名	1 名	6 名	6 名
85～90歳未満	90～95歳未満	95歳以上	合 計		
7 名	7 名	2 名	29 名		

○保育所の場合（通常保育）

	定 員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児					
1歳児					
2歳児					
3歳児					
4歳児					
5歳児					
計				—	—

（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

○障害等の状況（保育所を除く）

・身体障害（障害者手帳を所持している利用者についてご記入ください。）

障害区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級
視覚障害	名	名	名	名	名	名	名
聴覚又は平衡機能の障害	名	名	名	名	名	名	名
音声・言語、そしゃく機能の障害	名	名	名	名	名	名	名
肢体不自由	2名	名	名	名	名	名	名
内部障害（心臓・腎臓、ぼうこう他）	名	名	名	名	名	名	名
重複障害（別掲）	1名	名	名	名	名	名	名
合計	3名	名	名	名	名	名	名

※区分が異なる複数障害で等級の認定がなされている場合は「重複障害」に記入ください。

・知的障害（療育手帳を所持している利用者についてご記入ください。）

A ※	B	C
名	名	名

※「A」には丸付きのAを含む。

・精神障害（精神障害者保健福祉手帳を所持している利用者についてご記入ください。）

精神疾患の区分	1級	2級	3級
統合失調症	名	名	名
そううつ病	名	名	名
非定型精神病	名	名	名
てんかん	名	名	名
中毒精神病	名	名	名
器質精神病	名	名	名
その他の精神疾患	名	名	名
合計	名	名	名

○要介護区分の状況（介護保険対象サービス事業所のみご記入ください。）

自立・要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
0名	0名	1名	10名	12名	6名

○サービス利用期間の状況（保育所を除く）

～6か月未満	6か月～1年	1年～2年	2年～3年	3年～4年	4年～5年
3名	2名	8名	5名	1名	10名
5年～6年	6年～7年	7年～8年	8年～9年	9年～10年	10年～11年
名	名	名	名	名	名
11年～12年	12年～13年	13年～14年	14年～15年	15年～16年	16年～17年
名	名	名	名	名	名
17年～18年	18年～19年	19年～20年	20年以上		
名	名	名	名		

（平均利用期間： 2年6ヵ月）

【職員の状況に関する事項】

○成人施設の場合

	総数	施設長	事務員	主任指導員	指導員
常勤	16名	1名	1名	1名	0名
非常勤	11名	0名	0名	0名	0名
	主任介護職員	介護職員	保育士	看護師	OT、PT
常勤	1名	10名	0名	0名	0名
非常勤	0名	5名	0名	2名	0名
	栄養士	介助員	調理員等	医師	その他
常勤	1名	0名	0名	0名	1名
非常勤	0名	0名	1名	3名	0名

社会福祉士	2名	(0名)
介護福祉士	8名	(2名)
保育士	名	(名)
	名	(名)
	名	(名)

（非常勤職員の有資格者数は（ ）に記入）

○保育所の場合

常勤職員数		人		
うち	保育士	人	保健師・看護師	人
	栄養士・調理員	人	その他（ ）	人
非常勤職員数		人（常勤換算 人）		
うち	保育士	人（常勤換算	人）	
	保健師・看護師	人（常勤換算	人）	
	栄養士・調理員	人（常勤換算	人）	
	その他（ ）	人（常勤換算	人）	
<p>（注）常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。</p>				
（２）前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 人	非常勤： 人	
	退職	常勤： 人	非常勤： 人	
（３）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢		歳（	歳）	
（４）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数		年（	年）	
<p>（注）現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体（法人・自治体）内の児童福祉施設間の異動は通算可（公営の場合には保育主管課在職期間も通算可）。小数点以下第二位を四捨五入。</p>				

【本来事業に併設して行っている事業】

（保育所を除く）

（例）救護施設における通所事業（定員５名）

- ・指定短期入所生活介護・指定介護予防短期生活介護（空床型）
- ・指定小規模多機能型居宅介護・指定介護予防指定小規模多機能型居宅介護（定員22名）
- ・指定居宅介護支援事業
- ・地域包括支援センター指定介護予防支援事業（富士見市受託事業）

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○成人施設の場合

(1) 建物面積	1567.78 m ²	
	入所(通所)者1人あたり	29.25 m ² (延べ床面積÷定員)
(2) 居室数 (入所施設の場合)	個室	29 室
	2人部屋	室
	3人部屋	室
	4人部屋	室
	5人以上の部屋	室
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	平成	24年
(5) 主な設備	<ul style="list-style-type: none"> ・消火器 ・スプリンクラー設備 ・自動火災報知設備 ・消防機関へ通報する火災報知器 ・非常警報設備(放送設備) ・誘導灯 	

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	m ²	
	児童1人あたり	m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	m ²	
	児童1人あたり	m ² (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	平成	年

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設（事業所）において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

毎月入居者懇談会を開催し、施設での生活全般についての意見を聞いている。運営推進会議にて入居者の代表より意見を聞く機会を設けている。嗜好調査にて食事に関する意見をアンケート形式で聞き取りを行っている。

【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

毎日昼食時には主食を2種類から選べる選択食を実施し、入居者自身が食べたい料理を自己選択できる機会を設けている。真空調理システムを活用した調理により、各ユニットで再加熱した料理や直前まで冷蔵庫にて冷やした料理をテーブルごとにまわりながら盛り付けを行い、温かいものは温かいまま、冷たいものは冷たいまま提供している。個人個人の食器や家具、愛用品の持ち込みにより家庭的な環境で生活することを進めている。季節ごとのイベントやユニットごとの外出を年間を通して実施している。また、誕生日にはそれぞれ希望を聞き、外出や好きな食事の提供など個別に企画し実施している。入浴は檜の浴槽にてお一人おひとり入浴できるようあえて座位式・寝台式機械浴は設置せず、個浴のみの設備としている。浴槽をまたぐことが困難になった方に対しては設置している入浴介助用の移動リフトを使用し、どの方も同じ檜浴を楽しんでいただいている。新しく入職した職員には指導マニュアルを基に一人立ちまで職員が付き指導にあたっている。

職員教育については業務評価制度（目標成果シート、職務記述書、行動基準書の3種類の書式）を採用し、①4月・目標成果シートを使用し目標設定、②4月・目標設定面接、③10月・中間面接、④3月・評価、⑤3月・年度末のフィードバックを行っている。目標成果シートでは目標を上司・部下で共有し、職務記述書は職種毎に望まれる働き方を示し、行動基準書は組織人として望まれる働き方を示す書類となっており、後者2種類の書類についてはOJTにも活用をしている。新人職員OJTにおいては担当職員による1ヶ月ごとに面談で指導内容を確認している。研修については年間の内部研修や階層別研修の他に、職員ごとの立場や課題、学びたい希望等に合わせて外部研修を受ける機会を多くとっている。

地域との交流としては公民館の文化祭での模擬店の出店や、近隣の小さなお子さんのいる家族を対象とした花火行事を通して施設の周知を図っている。その他には地区の祭りや敬老会などその方の住み慣れた地区へ参加できるよう支援している。施設内で完結するのではなく、ここは入居者にとってあくまで自宅という考えのもと入居してから地域とのつながりを持てるよう支援している。

【第三者評価の受審状況】

・受審回数（前回の受審時期）

0 回 （平成 _____ 年度）